



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社
コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 茂樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 道嶋 仁

TEL 045-897-2425

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	19,824	21.4	705	401.5	758	—	432	942.0
26年3月期第2四半期	16,326	25.6	140	—	51	—	41	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 525百万円 (374.9%) 26年3月期第2四半期 110百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	8.75	—
26年3月期第2四半期	0.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	52,894	15,489	29.3	313.51
26年3月期	47,601	15,063	31.6	304.87

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 15,489百万円 26年3月期 15,063百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では27年3月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	19.4	1,500	103.8	1,300	132.1	1,000	158.4	20.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	51,926,194 株	26年3月期	51,926,194 株
27年3月期2Q	2,517,590 株	26年3月期	2,516,890 株
27年3月期2Q	49,409,361 株	26年3月期2Q	49,410,883 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般について

当第2四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、海外では中国の経済減速不安など様々なリスクがあり、国内では円安が進行する中で景気は回復の兆しが見られるものの総じて先行き不透明な状況が続きました。

このような状況において、液晶パネル分野は中国において大型パネル向けの受注が継続しました。また、スマートフォンやタブレットなどモバイル機器用中小型パネル向けの受注も堅調に推移しました。

半導体分野は、先端分野での受注が増加しました。

真空応用分野では、光学薄膜（反射防止膜等）関連の受注が増加しました。

こうした中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は22,281百万円（前年同期比26.8%増）、売上高は19,824百万円（前年同期比21.4%増）、営業利益は705百万円（前年同期比401.5%増）となりました。経常利益は円安の進行により為替差益が122百万円生じたこと等により758百万円（前年同期比1,363.6%増）、四半期純利益は当社が福井県小浜市に所有する土地の賃貸事業拡大のため、固定資産売却損48百万円と敷地整備費用等44百万円を事業構造改善費用93百万円として、および環境対策費75百万円を特別損失に計上したこと等により432百万円（前年同期比942.0%増）となりました。

②セグメントの業績について

(ファインメカトロニクス部門)

液晶パネル前工程では、大型パネル分野の新規設備投資があり受注、売上ともに増加しました。

半導体前工程では、主力の半導体WET装置の受注、売上が増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は11,136百万円（前年同期比25.3%増）、セグメント利益は343百万円（前年同期比113.8%増）となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

液晶パネル後工程では、大型パネル分野を中心に受注、売上ともに増加しました。

半導体後工程では、受注はほぼ前年同期並みとなりました。売上はフリップチップボンダを中心に増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は6,897百万円（前年同期比30.5%増）、セグメント利益は243百万円（前年同期はセグメント損失19百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5,293百万円増加し52,894百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5,369百万円増加し39,911百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ76百万円減少し12,983百万円となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産が減価償却等により減少したことによります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4,866百万円増加し37,404百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、長期借入金が増加したことによります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ426百万円増加し15,489百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ350百万円減少し、3,567百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は2,909百万円（前年同期は1,273百万円の増加）となりました。これは主に、売上債権の増加により資金が減少したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は154百万円（前年同期は7百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得等により資金が減少したことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は2,744百万円（前年同期は2,341百万円の減少）となりました。これは主に、借入金の増加により資金が増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

液晶パネル業界は、もう暫く大型パネル分野の新規設備投資が続くと予想されます。

中小型パネル及びタッチパネル分野でも、スマートフォンやタブレット向けの設備投資が継続していくと予想され、当社はコア技術を生かした新モデルを投入し、受注および売上の拡大を進めます。

半導体業界は、微細化関連装置の投資は堅調と予想され、先端分野での受注および売上の拡大を図ります。

当社を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、当社の新成長5分野を中心に受注拡大を加速し、売上の拡大に向けて取り組んでまいります。また業績拡大のために開発投資を増加させる一方、コスト構造改革により運営維持に係わる固定費の削減を行い、利益率の向上を図ります。

通期業績につきましては、ほぼ当初の計画通りに推移していますので平成26年4月24日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、税引前四半期純利益に法定実効税率をベースとした年間予測税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,987	3,639
受取手形及び売掛金	23,209	28,765
商品及び製品	1,747	1,857
仕掛品	3,901	3,867
原材料及び貯蔵品	155	152
繰延税金資産	706	617
未収入金	581	578
その他	345	541
貸倒引当金	△94	△109
流動資産合計	34,541	39,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,442	28,254
減価償却累計額	△18,369	△18,464
建物及び構築物(純額)	10,073	9,789
機械装置及び運搬具	2,452	2,829
減価償却累計額	△1,877	△2,065
機械装置及び運搬具(純額)	575	763
工具、器具及び備品	542	568
減価償却累計額	△458	△456
工具、器具及び備品(純額)	83	112
土地	119	119
リース資産	456	374
減価償却累計額	△298	△243
リース資産(純額)	158	130
建設仮勘定	646	726
有形固定資産合計	11,656	11,641
無形固定資産		
特許権	362	367
リース資産	7	0
その他	292	250
無形固定資産合計	662	618
投資その他の資産		
投資有価証券	111	117
長期前払費用	5	7
繰延税金資産	234	224
その他	390	376
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	740	723
固定資産合計	13,059	12,983
資産合計	47,601	52,894

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,503	10,194
短期借入金	8,118	9,198
1年内返済予定の長期借入金	2,000	1,700
リース債務	56	40
未払法人税等	190	134
未払費用	2,190	2,580
前受金	392	378
役員賞与引当金	23	17
受注損失引当金	7	53
資産除去債務	11	—
その他	520	501
流動負債合計	22,014	24,798
固定負債		
長期借入金	700	2,800
リース債務	123	103
長期未払金	19	4
退職給付に係る負債	6,172	6,183
役員退職慰労引当金	13	9
修繕引当金	403	404
資産除去債務	33	33
長期預り保証金	3,057	3,066
固定負債合計	10,523	12,606
負債合計	32,537	37,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,107	9,107
利益剰余金	1,788	2,121
自己株式	△1,720	△1,720
株主資本合計	15,937	16,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	26
為替換算調整勘定	312	273
退職給付に係る調整累計額	△1,208	△1,079
その他の包括利益累計額合計	△873	△780
純資産合計	15,063	15,489
負債純資産合計	47,601	52,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	16,326	19,824
売上原価	12,388	14,989
売上総利益	3,938	4,835
販売費及び一般管理費	3,798	4,129
営業利益	140	705
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	2	0
為替差益	—	122
投資有価証券売却益	52	—
保険解約返戻金	30	21
その他	25	20
営業外収益合計	118	171
営業外費用		
支払利息	81	66
為替差損	51	—
その他	73	52
営業外費用合計	207	118
経常利益	51	758
特別損失		
事業構造改善費用	—	93
環境対策費	—	75
特別損失合計	—	168
税金等調整前四半期純利益	51	589
法人税、住民税及び事業税	62	59
法人税等調整額	△52	97
法人税等合計	10	157
少数株主損益調整前四半期純利益	41	432
四半期純利益	41	432

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	41	432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	4
為替換算調整勘定	87	△39
退職給付に係る調整額	—	128
その他の包括利益合計	69	93
四半期包括利益	110	525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110	525

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	51	589
減価償却費	652	608
のれん償却額	9	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	15
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	84	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	139
受取利息及び受取配当金	△10	△7
支払利息	81	66
為替差損益 (△は益)	△10	△0
前受金の増減額 (△は減少)	△342	△10
売上債権の増減額 (△は増加)	1,531	△5,567
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△59	△557
仕入債務の増減額 (△は減少)	△734	2,006
投資有価証券売却損益 (△は益)	△52	—
その他	186	△1
小計	1,381	△2,718
利息及び配当金の受取額	10	7
利息の支払額	△82	△65
法人税等の支払額	△35	△131
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,273	△2,909
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	118	—
有形固定資産の取得による支出	△64	△97
有形固定資産の売却による収入	0	0
その他	△59	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7	△154
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,281	1,079
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△60	△36
長期借入れによる収入	—	2,800
長期借入金の返済による支出	—	△1,000
配当金の支払額	—	△98
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,341	2,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	85	△31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△990	△350
現金及び現金同等物の期首残高	4,234	3,918
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,244	3,567

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	8,889	5,287	1,166	983	16,326
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	71	1	—	85
計	8,901	5,359	1,168	983	16,412
セグメント利益又はセグメント損失(△)	160	△19	29	178	348

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	348
全社費用(注)	△179
その他	△117
四半期連結損益計算書の経常利益	51

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	11,136	6,897	810	980	19,824
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	87	0	—	92
計	11,141	6,985	810	980	19,917
セグメント利益	343	243	18	224	830

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	830
全社費用（注）	△143
その他	71
四半期連結損益計算書の経常利益	758

（注）全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。